

## ” 3. 11 ” から10年目の年に…………



地震発生時刻で止まっていた理科室の時計

2月13日(土)23時8分、福島県沖を震源とする最大震度6強(福島市震度6弱)の地震が発生しました。

10年前を彷彿させる揺れとスマホから鳴り響く警告音に、体が強張りました。幸い室内の落下物は10年前ほどではなく、学校の被害確認に向かいました。

学校に入ると、ロッカーが倒れ室内に物が散乱する状況。真っ先に耳に飛び込んできたのは、水が流れ落ちる音。会議室前廊下の天井から止めどなく水が流れていました。また、4階理科準備室から流れる水が直下の3階教室まで浸水している状況でした。駆け付けた職員により、漏水・浸

水への対応と水もれの影響を受ける教室の物品移動にあたりました。当面必要な処置を済ませて学校を出たのは14日(日)午前2時30分頃。

同日午前8時30分からは全職員での被害個所の確認と可能な対処にあたりました。しかし、ライフラインである「水・電気・ガス」の安全確認がとれない状況から15日、さらには16日へと臨時休業の措置をとらざるを得ませんでした。

「水」は、トイレの使用や手洗いに不可欠。「電気」は、漏水の影響から漏電による火災発生の危惧。「ガス」は、エアコン使用に不可欠。このライフラインの復旧が、学校再開の大きなカギを握りました。最も大切な「水」は、16日午後復旧の見込みでした。

しかし、復旧直後に新たなトラブルが発見されその対応のために「学校再開」の連絡が遅れてしまいました。なんとか、17日(水)からの「学校再開」という願いがあったとはいえ、保護者の皆様への連絡が遅くなりましたことは誠に申し訳なく思っております。翌日の対応として、お子様を預けることになるのかどうか、お弁当を用意しなくてはいけなくなるのかどうか……、それぞれにご心配ご負担をおかけすることとなってしまいました。本当に申し訳ありませんでした。

本日、子どもたちの元気な姿が学校に戻り、すべての教職員が安堵の思いで迎えました。そして、被害個所が残るなかで安全に配慮した学校生活を送るために必要な注意すべき点について伝えるとともに、今後の地震発生時の対応についても指導をしました。

しかし、被害個所の復旧はまだまだこれからも続きます。

- 給食再開は補修状況を見ながらとなりますので、来週以降となる見込みです。
- 給水設備についても、まだ不備が見られますので不便をかける部分は残ります。
- 破損個所の修復に向けた工事等も入ります。

保護者の皆様へは、状況に応じた連絡をその都度メール等によりさせていただきます。

令和2年度、残された23日間、子どもたちの学校生活を維持するために全力で取り組んでまいります。保護者の皆様のさらなるご理解・ご協力をお願い申し上げます。

※ 復旧作業(図書室整備)にご尽力いただきました“友愛ボランティア”の皆さん、PTA室整備にご尽力いただきました役員の皆さん、状況を理解し連絡を待っていただいたすべての保護者の皆様、心より感謝申し上げます。